

※ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ※

～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

□ 中学生が真剣に協議しました！「福岡市中学校生徒図書委員会交流会」

福岡市中学校図書館教育研究会（会長：瀧口博之 多々良中央中学校長）が主催する、標記の会が8月27日、あいれふホールにて行われました。今回で57回目という長い歴史を誇る交流会ですが、今年は前半に図書館紹介・活動紹介、後半に質疑と意見交換・講評という構成のもと、長丘中学校の放送部員2名の進行アナウンスにより進められました。

図書館紹介では次郎丸中学校、城南中学校の2校から発表がありました。次郎丸中学校からは、図書委員長や図書委員の活動について、城南中学校からは、図書専門委員会の活動内容や現在困っている事などについて報告がありました。

活動紹介では、城南中学校と東住吉中学校の2校がブックトークを行いました。城南中学校が紹介した2冊の本はどちらも原爆に関わるものでした。（ジョー・オダネル著「トランクの中の日本」、峠三吉著「にんげんをかえせ」）情感たっぷりに本の内容が紹介されました。

東住吉中学校は「ふしぎの国のアリス」を軸に、関連本をたくさん紹介しました。（ルイス・キャロル作、芹生一訳「ふしぎの国のアリス」、鏡の国のアリス、J・フィッシャー「アリスの国のふしぎなお料理」、サンジ「サンジの満腹ごはん」、ヨシタケシンスケ「ぼくのニセモノをつくるには」、アル・セッケル「錯視芸術の巨匠たち」、篠崎菜穂子「はたらく数学」小林泰三「アリス殺し」）これらの本の紹介にあたり、たくさんの本から画像や文を引用しましたが、綿密に調べたことがよくわかる発表内容で、感心させられました。

会の後半の質疑応答と意見交換も生徒たちの手で進められました。（議長団：当仁中学校、記録：柏原中学校）主にでた意見や質問は次のようなことでした。図書館だよりの作成について、図書館祭りや読書集会の内容について、学校図書館の運営に関して（図書館内でのマナー指導、未返却者への対応）など、次々に質問や意見が述べられました。

最後に、講評として同研究会の井田副会長から『学校には色々な委員会活動がありますが、図書委員会は「～させる」ではなく「～できる」委員会です。だからやりがいを感じられるのです。』と話がありました。交流会の参加者は、有意義な時を過ごすことができたことを実感するとともに、これからの各学校での図書委員としての活動に、やりがいを持って取り組むことでしょう。



* 瀧口会長による開会の挨拶



* 質疑応答の様子

□ 平成 27 年度「学校図書館担当者連絡会」が行われました

市内の各幼・小・中・特別支援・高等学校の学校図書館担当者および学校司書を対象とした標記の連絡会が、去る 8 月 21 日、早良市民センターを会場に行われました。

連絡会の趣旨は「組織的・計画的な学校図書館運営について共通理解を図り、司書教諭と学校司書との連携のあり方について理解を深めながら、学校図書館教育の充実を図ること」です。

会前半の全体会は学校指導課の平川主任指導主事から、「学校における読書活動の推進について」の話からスタートしました。平成 26 年度生活習慣等に関する調査から、読書習慣に関する質問の結果や、児童・生徒の月平均読書冊数、さらには文科省、福岡県の学校図書館現状調査から、全校一斉読書活動を行っているか、学校図書館教育の全体計画を位置づけているか、授業で学校図書館を活用しているか等について、本市からの回答を集約したものなど、具体的なデータを示しながら話がありました。

平川主任指導主事の話に続き、4 月から本格稼働している学校図書館支援センターから、支援内容の説明や、9 月からスタートする学習支援用図書の貸し出しシステムについて、説明がありました。

全体会の後半は、5 つの学校・園からの読書活動の活性化に向けた実践発表でした。

金武幼稚園からは毎日の読み聞かせの際の工夫点や、お母さんたちの絵本サークルと協力して実施している絵本フェアの取り組みなど、具体的な取り組みについて発表がありました。

香椎下原小学校からは司書教諭と学校司書・図書ボランティアとの連携の実際について、司書教諭の先生と学校司書さんの二人で発表されました。**柏原中学校**からは、貸出アップのための取り組みや、学校図書館の授業での活用例などが報告されました。**野間中学校**からは、保護者を中心に 9 年前に組織された読書ボランティアの取り組みについて、司書教諭と学校ボランティアさんと二人で発表されました。最後に、**福岡女子高等学校**からは、平成 20 年度から実施されている「生徒合同読書会」について報告がありました。

どの発表もたいへん具体的で、参加者一同、大いに参考になりました。おかげで、休憩後の質疑応答や、その後の情報交換分科会でのグループ交流も盛り上がりを見せしていました。



* 平川主任指導主事からの話



* 情報交換・グループ交流の様子

□ 福岡アジア美術館・福岡市総合図書館からのお知らせ（9月～10月）

＊ 福岡アジア美術館

福岡アジア美術館、アジアギャラリーでは、12月15日まで、二つの展覧会が行われています。

アジアギャラリーAでは、
「一粒の希望―土地は誰のもの?!」
また、アジアギャラリーBでは、
「フシギ?の世界―ここではないどこかへ」です。



＊「フシギ?の世界」と「一粒の希望」関連図書の展示（7階）

これにあわせて、7階のカフェコーナーでは、紹介作家や作品に関する関連図書が展示されています。（写真右上）詳しい内容は、福岡アジア美術館のホームページをご覧ください。☞ (<http://faam.city.fukuoka.lg.jp/home.html>)

「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」も行われています。9月後半と10月の日程は次のとおりです。

（9月）22日（火）、27日（日）
（10月）11日（日）、13日（火）、25日（日）、27日（火）
（時間）11：30～、13：00～（1日2回）
（会場）7階「キッズコーナー」



＊ 福岡市総合図書館

福岡市総合図書館で毎月実施されている「おはなし会」について、9月後半から10月前半の日程をお伝えします。

9月：20日（日）、26日（土）、27日（日）
10月：3日（土）、4日（日）、10日（土）、11日（日）
17日（土）、18日（日）、24日（土）、25日（日）

♪ 時間と場所について：土曜日 14：30～（幼児向け）

日曜日 14：30～（幼児向け）

15：15～（幼児～小学生向け）

場所は「こども図書館 おはなしの家」です。

♪ こども図書館 9月の展示 は「アジア」、10月の展示 は「生きかた」です。

その月のテーマに即したいろいろな本が展示されます。ぜひ、のぞいてみてください！

□ 図書館歳時記（9月下旬～10月中旬）

♪特集コーナー設置の際の
参考にどうぞ！！

（多岐に渡る領域の本を紹介することができるように、
記念日は文学関係以外のものもあげています。）

✽ 記念日関係

* 9月29日：洋菓子の日

この日が、洋菓子職人にとっての守護聖人である「サン・ミシェル」の祝日であることにちなんで、2002年、三重県洋菓子協会が制定しました。

* 10月1日：NASA 活動開始

ワシントンD.C.に本部を置く、NASA（アメリカ航空宇宙局）は1958年のこの日から、宇宙開発に関わる活動を開始しました。

* 10月2日：国際非暴力デー

マハトマ・ガンジーの誕生日にちなんで、2007年の国連総会で制定されました。

* 10月2日：まんが「ピーナッツ」連載開始

スヌーピーやチャーリー・ブラウンなどのキャラクターで日本でも大人気のまんが「ピーナッツ」がアメリカの新聞に連載が開始されたのは1950年のこの日です。ただし、スヌーピーが初めて登場するのは10月4日だったそうです。ちなみに、日本で初めて「ピーナッツ」の翻訳を行ったのは、なんと、谷川俊太郎だそうです。

* 10月7日：ミステリー記念日

1849年のこの日、エドガー・アラン・ポーが亡くなったのにちなんで、制定されたものです。ちなみに、江戸川乱歩の誕生日も同じ10月です。（10月21日）

* 10月9日：レ・ミゼラブル日本初紹介

ヴィクトル・ユーゴーが1862年に執筆したレ・ミゼラブルを初めて我が国に紹介したのは黒岩涙香という人です。彼が1892年に創刊した「萬朝報」という雑誌に彼自身の翻訳により1902年から1903年にわたり「噫無情」というタイトルで連載されました。彼は他に「巖窟王」「鉄仮面」なども自身の翻訳で紹介しています。



✽ 9月・10月に関係する文学者たち

♪ 9月・10月生まれの主な文学者・詩人たち

9月17日	正岡子規	(1867)	10月4日	辻 仁成	(1959)
9月24日	筒井康隆	(1934)	10月20日	ランボー	(1854)
9月24日	長 新太	(1927)	10月21日	江戸川乱歩	(1894)

♪ 9月・10月に亡くなった主な文学者・詩人たち

9月19日	正岡子規	(1902)	10月11日	ファール	(1915)
9月21日	宮澤賢治	(1933)	10月11日	冨・冨二	(1910)
9月26日	小泉八雲	(1904)	10月12日	松尾芭蕉	(1694)
9月29日	遠藤周作	(1996)	10月21日	志賀直哉	(1971)

□ 図書館員のひみつの本棚 No. 113

福岡市総合図書館の重村さやかさんが紹介してくださるこのコーナー、今月は今の季節、道端にころがっているのを見かける、かわいいアレが主役です。（この本を読むともう踏みつけられなくなるかも??）

♪ 今月の「図書館員のひみつの本棚」

『どんぐりずもう』こどものとも年少版 2014年11月号
(いしだ えつこ/さく 飯野 和好/え 福音館書店 2014年 389円)



♪ あとがきにかえて * * * * *

子どもたちが学校・園に戻り、学校は再び活気に満ちていることと思います。たくさんの行事が控える2学期、それぞれの学校・園では工夫に満ちた取り組みが展開されることでしょう。

日増しに秋めいてきますが、秋といえば、10月27日からは「読書週間」に入ります。

今年の標語は「いつだって、読書日和」だそうです。「子どもと本の日」通信次号では、読書週間関連の記事を載せたいと思っています。「読書週間期間中、あるいは読書週間に向けて、私の学校・園ではこんなことをします!」という情報をぜひお寄せください。

できるだけ多くの学校・園の取り組みを紹介したいと思います。

連絡先は下記のとおりです。取材にお伺いできるのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。

編集・発行： 福岡市教育委員会 教育支援部 生涯学習課
電話：711-4655 FAX：733-5538